

第18回 化粧品包装セミナー

—差別化と更なる優位性—

日程：平成26年7月18日(金) 13:00 ~ 16:50

会場：スペースFS汐留

主催：公益社団法人日本包装技術協会

ご参加の勧め

昨年度より本セミナーも多数の方がご参加して頂けるよう、年2回午後開催としております。

今回18回目を迎え、日本の包装技術の原点に立ち返り、そこから『差別化と更なる優位性』を目指し、グローバルな視点から品質技術の革新、融合に繋げて頂ければと考えております。

どうぞ本セミナーに数多くの関係各位のご参加お待ちしております。

プログラム

時間	講演内容	講師
13:00 ▼ 14:10	<p>『スキンケア容器(細口・広口)及びポンプ設計の留意点』</p> <p>2000年以降スキンケア容器は、細口容器はPET、広口容器はPPが台頭し、ガラスの消費が年々少なくなっている。容器色調も中味保護を目的に透明から半透明や不透明容器の採用が増えている。</p> <p>また、ユニバーサルを意識し、中味が取り出しやすいポンプの採用や、環境対応としてレフィルにスタンディングパウチを採用したブランドも増加傾向にある。</p> <p>今回、スキンケア容器全般について、過去の経緯なども踏まえ基本的な設計の留意点を解説する。</p> <p>①スキンケア容器(細口・広口) ②ポンプ</p>	<p>株式会社トキワ グローバルテクノロジーセンター 主席研究員</p> <p>井上 隆 氏</p>
14:20 ▼ 15:30	<p>『CADを活用した人間工学的視点の容器設計』</p> <p>現代の容器設計において、ユニバーサル視点・アクセシブルデザイン視点は欠くことが出来ない。こうした設計の技術的基盤となるのが「人間工学」である。本講演では、ライオン㈱における人間工学技術を用いた容器開発の現状を、以下の項目に整理してご紹介したいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ライオン㈱における生活者に配慮した容器事例 ●「持ちやすさ」に挑む ●ヒトの知るために 	<p>ライオン株式会社 包装・容器技術研究所 副主席研究員</p> <p>中川 敦仁 氏</p>
15:40 ▼ 16:50	<p>『エアゾール製品の構造、使用上の注意事項等 及びエアゾール製品の特徴を生かした商品開発』</p> <p>エアゾール製品は、世界中で約140億本(日本は約5億本)製造されています。</p> <p>ガスの圧力で霧状や泡状にできるため(エネルギーを内蔵している缶詰)、密封性に優れ、必要な時に必要な量を使用することができます。これらエアゾール製品の構造や特徴に加え、安全な使用方法及び廃棄方法を解説します。また、全世界を見渡した場合、成長産業にあるエアゾール製品の利便性を生かした商品をさらに開拓するべく、皆様の理解をより深めていただければ幸いです。</p>	<p>株式会社ダイゾー エアゾール事業部 研究開発本部 本部長</p> <p>大和田 亮一 氏</p>

化粧品包装セミナー企画委員

*本催しは各企業から代表された企画委員によりプログラムを編成しております

主査 住瀬 雅広 氏 株式会社DSC 代表取締役社長
直井 正宏 氏 株式会社コーサー 商品デザイン部 設計課 主任専門職
木本 喜久 氏 株式会社資生堂 化粧品開発センター 外装開発グループ 副主幹研究員
鈴木 智晴 氏 ポーラ化成工業株式会社 経営企画部 クリエイティブディレクター
岡 政弘 氏 花王株式会社 基盤研究セクター 包装容器開発研究所 主任研究員 グループリーダー

講師のご紹介

井上 隆氏

株式会社トキワ グローバルテクノロジーセンター
主席研究員

【ご略歴】

1971年 ㈱資生堂 鎌倉工場入社
1975年 同社 技術部 外装技術・品質保証
1999年 ㈱資生堂本社 購買部(材料購買)
2002年 生産技術開発センター
2005年 宣伝制作部(パッケージプロデュース)
2009年 ㈱資生堂退社
2010年 ㈱トキワ入社
グローバルテクノロジーセンター 新規外装設計及び
開発を担当

中川 敦仁氏

ライオン株式会社 包装・容器技術研究所
副主席研究員

【ご略歴】

1987年 千葉大学理学部化学科卒
同年 ライオン(株) 家庭科学研究所 ヒト官能評価と相関する
機器評価法の開発
1995年 同 包装技術部 包装容器の形状設計を担当
2013年 上記 組織改組 包装・容器技術研究所
包装管理士

大和田 亮一氏

株式会社ダイソー エアゾール事業部
研究開発本部 本部長

【ご略歴】

1980年 大阪エヤソール工業株式会社
(現 株式会社 ダイソー)入社
1980年～
2001年 商品開発関係業務
2001年～
2011年 製造関係業務(京都工場、東京工場、タイ工場)
2011年～ エアゾール事業部 研究開発本部 本部長

講演要領

日時:平成26年7月18日(金) 13:00～16:50

会場:「スペースFS汐留」

東京都港区東新橋1-1-16 汐留FSビル3F

参加費:会員14,040円(消費税・テキスト代含む)

*同時に3名以上でお申込みの場合には、
割引価格として1名11,880円(消費税・テキスト代含む)
一般19,440円(消費税・テキスト代含む)

定員:120名

お申込み方法

- 本紙申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
協会ホームページからもお申込みできます。
*協会ホームページ: <http://www.jpi.or.jp>にてホームページを検索し、各
種・催事から「第18回化粧品包装セミナー」を開いて下さい。ページ
末の申込みフォームに必要事項をご記入して送信下さい。
- 申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。
- 当日、ご都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えありません。
(受付にて名刺をご提出いただけます)

お問合せ並びに申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第18回化粧品包装セミナー」の事業実施に関する資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

会場案内図

- 会場:「スペースFS汐留」
東京都港区東新橋1-1-16 汐留FSビル3F
- アクセス:JR新橋駅 汐留口 徒歩3分
地下鉄 東京メトロ銀座線 新橋駅 2番出口 徒歩3分
都営浅草線 新橋駅 汐留1番出口 徒歩1分
都営大江戸線 汐留駅 徒歩4分
ゆりかもめ 新橋駅 徒歩1分



*ホール入り口は、建物正面右側の専用階段を上って下さい

第18回化粧品包装セミナー(7月18日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内 FAX.03(3543)8970 No

会社名	JPI会員 ・ 一般 (どちらかに○を付けて下さい)				
所在地	(〒)				
電話			FAX		
参加者名	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	